



総合通信基盤局  
電波部移動通信課  
**杉浦 匡哉**  
SUGIURA MASAYA  
(令和4年4月入省・一般職事務系)

行政評価局評価監視官付  
(連携調査・環境等担当)  
**赤木 舞**  
AKAGI MAI  
(令和4年4月入省・一般職事務系)

統計局統計調査部  
国勢統計課  
**寺垣内 雅子**  
TERAGAUCHI MASAKO  
(令和3年4月入省・一般職事務系)

消防庁  
総務課  
**加藤 美舞**  
KATO MIBU  
(令和4年4月入省・一般職事務系)

若手職員4名に、総務省を目指したきっかけや実際に働いてみて感じたことを語っていただきました。

まず、簡単に自己紹介をお願いします。

**加藤**：消防庁の加藤です。埼玉県出身で、現在は都内で一人暮らしをしています。旅行をすることが好きで、連休がとれたら国内を旅行しています。コロナが落ち着いたら海外旅行に行きたいと思っています。

**寺垣内**：統計局の寺垣内です。生まれも育ちも広島県です。東京に来てからずっとコロナ禍なのですが、落ち着いたら何かスポーツを始めたいです。本日はよろしくお願ひいたします。

**杉浦**：総合通信基盤局の杉浦です。東京都出身で、大学は千葉県に通っていました。趣味は旅行と音楽を聴くことで、最近は牛タンにハマっています。

**赤木**：行政評価局の赤木です。愛知県出身で、大学生の頃に上京してきました。趣味は、色々ありますが、最近はバイクを見に行くことやお菓子作りにはまっています。本日はどうぞよろしくお願ひいたします。

まずはみなさんが総務省に関心を持ったきっかけ、総務省を選んだ決め手を教えてください。

**杉浦**：もともと、量子暗号通信・5G・DXなど、今後さらに注目されそうな情報通信分野に興味がありました。情報通信分野の発展にはルール作りが重要であると思ったので、政策の企画・立案にも関わることができる総務省に決めました。



**赤木**：私は行政評価という行政全体をより良くするための調査業務に携わりたと思ったのがきっかけです。

**寺垣内**：私は通学路に合同庁舎があり国家公務員が身近な存在だったこと、心理学を専攻しており統計が身近だったことと総務省は私にとっての「身近」が溢れていました。説明会に参加した際に職員の方に「絶対に向いている!」とアドバイスいただいたことがきっかけになりました。大学院生時代の研究や国際学会発表の経験を活かせると一番感じたのは総務省だったのと、官庁訪問で職員の方々が優しく朗らかな方ばかりだったのも決め手の一つです。

**赤木**：私も総務省でやっている業務が魅力的であったことももちろんありますが、一次試験合格者向けの説明会に参加して、働いている人の雰囲気や人柄の良さが一番良いと感じたので、総務省を選びました。

**加藤**：実は私も官庁訪問前に参加した業務説明会がきっかけです。そこで総務省の業務内容を詳しく知ったのですが、自分の興味のあることと重なっていることに気づき、総務省への関心が一気に高まりました。官庁訪問の時に話ささせていただいた職員の方全員がとて

も優しく、総務省で働けば人間関係で困ることがあまりなさそうだなと思いました。

**杉浦**：実際に職員の方とお話すると印象が変わりますよね。私も説明会に参加した時に、職員の方々の、人柄や仕事に前向きである姿勢を感じ、この職員の方々と一緒に仕事をしたいと思いました。



**赤木**：少しでも興味がある方は、ぜひ説明会に参加して職員さんから総務省の雰囲気を感じてもらいたいです。

**寺垣内**：実際に話してみても伝わる雰囲気もありますよね。ちなみに、統計や情報通信関係の部局は、専門的な知識が必要になるのではと思う方も多いと思いますが、実際は、別の分野を学んでいた職員がたくさんいます。また、入省してからもしっかり研修があるので、安心して仕事に取り組んでいます。

官庁訪問に向けてアドバイスをください!

**杉浦**：官庁訪問はとても緊張すると思いますが、大事なことは面接官と言葉のキャッチボールをすることです。難しく考えすぎずに、自分がやりたいこととその熱意をしっかりと伝えられるようにすることが大切だと思います。

**赤木**：確かに官庁訪問初日はとても緊張しましたね。でも面接という意識より、会話を楽しむという意識の方がいいかもしれません。面接官は完璧な答えを求めていなくて、自分の考えを伝えられるか見ていると感じたので、自分の考えをはっきり伝えることが重要だと思います。

**加藤**：事前に用意していた回答というよりは自分の言葉で伝えるということがとても大事ですよ。

**寺垣内**：そのためにも学業やアルバイト、といった経験の「引き出し」を沢山用意しておくのがおすすめです。官庁訪問は実際に総務省の職員とお話できる機会なので、総務省を知りたい、ありのままの自分の良さを知ってもらいたい、という気持ちで臨んで欲しいです。

**加藤**：私は総務省で働きたいという熱意を素直に伝えることが一番重要だと思います。ほどよい緊張感を持って明るくハキハキと自信を持って話せば思いは伝わると思います!

**杉浦**：官庁訪問はたくさんの面接官とお話するので、その中でしっかりとコミュニケーション

をとることを心がければ良いと思います。官庁訪問を乗り越えればゴールはすぐそこなので頑張ってください!

実際に入省してみて感じたギャップや職場の雰囲気を教えてください。

**杉浦**：とても賑やかな職場です。入省前は黙々と仕事をしているイメージがあったのですが、雑談も含めてコミュニケーションをとる機会が非常に多いので、質問や相談もしやすくてとても働きやすいです。

**寺垣内**：私も入省前に持っていた公務員のイメージは淡々と事務作業をしているというものでしたが、実際は、働き方も多様ですし、一緒に仕事をする上司や先輩方は優しい方ばかりです。コロナ渦での入省だったため、始めは周りとのコミュニケーションを心配したりもしましたが、職場は和やかな雰囲気です。毎日楽しく仕事をしています。

**加藤**：私の職場も明るくいつも賑やかです。また思っていたより働き方が自由でした。時差出勤やテレワークが普通に行われており、業務の都合に合わせて各自休暇も取得しています。上司が休暇を取得するように呼びかけてくださるのは非常にありがたいです。



**寺垣内**：上司の方から積極的に呼びかけてもらえる若手も休みやすいですよ(笑)

**赤木**：わかります(笑)入省前は、もっと仕事が大変で帰宅も遅くなるのかなと心配していましたが、平日でも上司が定時退庁を呼びかけてくれるおかげでプライベートの時間がしっかり取れます。また、1年目でも発言ができ、業務に反映されるということが驚きでした。上司がすごく優しいので、仕事がしやすく、分からないことを聞きやすい環境でとても働きやすいです。

**加藤**：私のいる消防庁は全国の消防本部から派遣されてきている方が多いので、全国各地のお話を聞くことができます。行ってみたい場所が増え、時間があれば行きたいなと思っています。

**杉浦**：総務省の職員は自治体や支分部局等も含め全国各地から集まっているので、それぞれの地元の話など業務外の話題で盛り上がることもありますよね(笑)。

総務省の魅力は何だと思いますか?

**赤木**：仕事環境が良く、働きやすいところや発言が1年目から反映されたりするので、成長できる機会が多いところです。また、様々な業務に携わることができ、色々なことが学べるところが他省にはない魅力だと思います。

**寺垣内**：成長の場が沢山用意されていることです。様々なバックグラウンドを持った先輩がいたり、研修が沢山の用意されていたり総務省の中でももちろんですが、地方や海外といった総務省の外の経験も沢山のチャンスがあります。



**杉浦**：海外の大使館や地方支所など様々な場所で働くことや、国内外の大学への留学に行くこともできます。自分の希望次第で何でもできるのは総務省のとても魅力的なところですよ。

**加藤**：地方自治分野では、地方公共団体に向向する機会が設けられています。国の視点も地方の視点も知ることができるのは魅力の一つではないかと思っています。まだ行ったことのない地域に行ってみたいです。

最後に受験を考えている方へ、メッセージをお願いします!

**加藤**：入省してから今まで非常に充実しており、総務省への入省を決めた自分の判断は正しかったなと思っています。自分のやりたいことをよく考え、後悔のない選択をしてほしいです。一緒に働けることを楽しみにしています!

**赤木**：総務省は、どこよりも仕事のしやすさや居心地の良さは一番だと思います。そして、絶対に自分自身が成長できる場が多くあります。そんな総務省でみなさんと一緒に働ける日を心待ちにしています!

**寺垣内**：コロナ渦で進路を選択することはきっと沢山の不安があると思いますが、そこで悩んだ経験や受験での出会いは、本当に自分自身の財産になると思います。総務省に興味がある方、ぜひ受験して一緒に働きましょう!

**杉浦**：総務省は業務の幅やスケールが大きく働いてとても面白い職場です。就活中は悩むことも多いかと思いますが、目標に向けてがんばってください!一緒に働ける日を楽しみにしています!



自治税務局固定資産税課償却資産係  
鈴木 美南 SUZUKI MINAMI  
令和3年4月採用

## 地方税制の適正な運用をめざす1日



10:00AM  
実地調査の最終確認

一部固定資産税については、総務省で申告を受け付けており、その申告が適正か実際に事業者へ赴いて調査を行います。出発前に調査の最終確認をします。



12:00PM  
ランチタイム

調査先の近くでランチをしました。普段は省内で食べることも多いですが、調査では、その土地の名産品を味わうことができます！



14:00PM  
実地調査の開始

事業者所有の資料を確認し、申告している金額や資産に誤りがないかを確認します。今回は、都内でしたが、全国各地の事業者へ調査に行きます。



16:30PM  
上司への報告

総務省へ戻り、調査の内容等について、上司へ報告をします。調査結果を事業者へ通知する必要があるため、報告が終わり次第、資料を作成します。



18:00PM  
事業者への連絡

他にも調査へ行く事業者があるため、事前に、日程調整や必要資料についての連絡をし、今後の実地調査への準備を進めます。



19:00PM  
退庁

退庁後は、同期とご飯に行ったり趣味のヨガに行ったりして明日のための英気を養います！

### メッセージ

もともと地方自治体に興味がありましたが、日本全体の地方行政に関われることに魅力を感じ入省しました。総務省での仕事はスケールが大きく、自分が携わった仕事が全国の自治体に影響を与えることにやりがいを感じます。また、地方自治体から来られている方も多く、全国各地の方々と一緒に働くことができるのも楽しいです！みなさんを総務省でお待ちしています！



情報流通行政局情報流通振興課  
久保 苑絵 KUBO SONOE  
令和4年4月採用

## デジタル活用支援について考える1日



10:00AM  
1日のスケジュール確認

出勤したら、メールチェックを行います。その後、その日の自分のタスクを確認し、1日の課内スケジュールを把握します。円滑な業務遂行のためにとても重要な時間です。



12:00PM  
ランチタイム

お昼は省内の食堂で食べたりデスクでゆっくりと過ごしたりすることも多いですが、外に食べに出るととてもリフレッシュでき、午後の業務にも集中できます。



13:00PM  
事業関係者とのオンライン打合せ

担当する業務である「デジタル活用支援推進事業」の事務局請負事業者の方と定例ミーティングを行います。事業状況の報告を受け、改善点や今後の方向性などを話し合います。



14:30PM  
上司へのご相談

打合せの結果を受け、今後必要となる作業を整理し業務分担を行います。上司と相談し、事業の周知広報に向けた資料準備などを担当することになりました。



16:00PM  
視察に向けた準備

来週の事業視察に向けて、事業実施団体と調整の連絡などを行います。実際のスマホ講習会の現場を見させて頂く貴重な機会なので、上司をスムーズに案内できるよう準備します。



19:00PM  
退庁

一日の仕事を終えた後に同期と食べる美味しいご飯が何よりのご褒美です。金曜日の夜など時間に余裕がある時は、スパでゆっくり休むことにもハマっています！

### メッセージ

ICTの利活用に興味があり、総務省に入省しました。実際に「誰一人取り残されないデジタル化」の実現に向けた事業に携わり、とてもやりがいのある仕事だと実感しています。また、知識豊富な上司や、「悩んだらいつでも聞いて！」とサポートして下さる先輩方がたくさんいる職場です。皆さんとお会いできる日を心待ちにしています。



行政評価局総務課総括係  
山澤 直生 YAMASAWA NAOKI  
令和3年4月採用

## 世の中の役に立つ行政について考える1日



9:00AM  
1日のスケジュール確認

出勤後、まずは今日のスケジュールを係で確認します。その日の流れや、局内のスケジュールを事前に把握することで、業務が円滑に進めることができます。



11:00PM  
担当課室と打合せ

行政相談委員制度60周年記念式典の開催に向けて、担当者や打合せをします。打合せの中で、行政相談制度、行政相談委員制度の歴史の深さや、その重要性を感じます。



12:00PM  
実態調査

お昼は銀座へ繰り出します。街を練り歩いて、おいしいお店を調査するといったことも仕事のひとつだと、私は思います。



14:00PM  
PJ活動風景

行政評価局には、政策の効果を実際に検証してみるといったプロジェクトチームがあり、私も参加しています。とても和やかな雰囲気です。



18:00PM  
タスク整理

日中に確認できなかったメールを処理します。明日の準備も終わったら退庁します。今日は打合せをした上司たちとうどんを食べに行きます。



19:00PM  
退庁

特段これといった趣味はないですが、おいしいものを食べるのが好きです。写真は「エッジ」の立ったざるうどん。これで明日の仕事にもキレができます。

### メッセージ

「どうせ仕事をするなら、世の中の役に立つことがしたい」というぼんやりとした動機で就職活動をしていましたが、そんな私にはかえって行政評価という仕事がぴったりだったのかもしれない。私と同じように志望動機に悩んでいる方がいれば、一人で悩まず、一度説明会などに参加してみると良いかもしれません。きつとなにかヒントをもらえるはずですよ。